



報道機関各位

2022年9月30日

東京都北区中里3-12-2

学校法人聖学院が写真・動画を募集する「第3回SDGsコンテスト」を開催 ― 投稿型ソーシャルアクションを通して世界の課題を自分ゴトに

学校法人聖学院（東京都北区／理事長：清水正之）は、聖学院関係者を対象とした「第3回 SEIGAKUIN SDGs コンテスト」を開催する。これはSDGsに関連した写真や動画を募集するもので、投稿を通して、一人ひとりの身近なSDGsへの気づきを促し、世界への貢献意欲を高めることを目指す。「写真クオリティ」「SDGsの視点」「独自性」等の評価項目に基づき審査・表彰され、優秀作品は12月7日（水）～9日（金）に東京ビッグサイトで行われる「エコプロ2022（主催／サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社）」において、学校法人聖学院ブースで展示される。

学校法人聖学院は、2018年に中期経営計画である「聖学院ビジョン」を策定した。その際、社会に貢献する人材の育成と「誰一人取り残さない世界の実現」を重要課題として位置づけ、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンに署名・加入した。持続可能な社会の実現に向けた教育環境の充実に取り組んでおり、SDGsコンテストも法人全体の教育活動の一環として行われる。

2022年度で3回目の開催となる同コンテスト「フォト&ムービー部門」では、「未来に残したいもの」をテーマに写真・動画を募集する。第1回「ワタシが見つけたエコロジー」、第2回「探してみようSDGs」では、SDGsへの関心が高められると共に、社会課題への問題提起につながる作品も多く寄せられた。

第3回では、これらのコンセプトに加え持続可能な社会づくりを重視したテーマを設定。写真・動画の投稿を通して未来への希望を描けるようにとの願いを込めた。

受賞作品は「エコプロ2022」での展示のほか、聖学院NEWS LETTER 12月号（2022年12月末発行）にて紹介を予定している。

◆第3回SDGsコンテスト（フォト&ムービー部門）概要

【テーマ】未来に残したいもの

【対象者】在校生・教職員・保護者・卒業生・その他聖学院関係者

【応募作品】写真 or 動画（1分以内）＋応募コメント

【応募期間】2022年9月1日（木）～10月10日（月・祝）

【審査日】2022年10月19日（水）

【審査員（フォト&ムービー部門）】

- ・石原 康男（カメラマン）
- ・武本 花奈（カメラマン）
- ・佐藤 慎（聖学院小学校長・広報センター長）
- ・江崎 聡子（聖学院大学准教授・サステナビリティ推進センター委員）

【評価項目】写真クオリティ、SDGsの視点、独自性等

【審査発表】10月下旬、下記ウェブサイトで発表。

学校法人聖学院ウェブサイト（<https://www.seig.ac.jp/>）

【表彰】最優秀賞・優秀賞・佳作・広報センター長賞

【賞品】オリジナルマイボトル、LFCコンポストセット、社会貢献型QUOカード他

【詳細】<https://www.seig.ac.jp/news/topics/12478/>

なお、今回より、聖学院中高生を対象にした「ソーシャルアクション部門」「英語スピーチ部門」を新設した。概要は以下のウェブページ参照。

【ソーシャルアクション部門】

<https://www.seig.ac.jp/news/topics/12480/>

【英語スピーチ部門】

<https://www.seig.ac.jp/news/topics/12482/>

（関連記事）

・学校法人聖学院が12月8～10日の「エコプロ2021 持続可能な社会の実現に向けて」に出展 -- 地球や社会環境の課題を自分ごと化する一貫教育を紹介（2021.11.26）

<https://www.u-presscenter.jp/article/post-47138.html>

・第2回 聖学院SDGsコンテスト PHOTO & MOVIE 開催～オンラインでもSDGs「自分ごと化」を促進～（2021.09.01）

<https://www.u-presscenter.jp/article/post-46518.html>



2021年度審査会の様子
左：武本花奈 右：石原康男



2021年度最優秀賞
「自分ごとにしよう」



受賞作品展示の様子
於：東京ビッグサイト

【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先】

学校法人聖学院 広報センター 担当：松田・萩野

03-3917-8530 E-mail: pr_h@seigakuin-univ.ac.jp